

五條家第二十五代当主

五條元滋

八女市黒木町在住。征西將軍懐良親王の補佐役として九州に下向した五條頼元の末裔。「五条家文書」「金鳥の御旗」などの貴重な資料を歴代にわたって守り続ける。宮内庁陵墓守部としても「良成親王墓」を管理。



直木賞作家・歴史小説家

安部龍太郎

八女市黒木町大淵（剣持）生まれ、幼い頃から南北朝の動乱を寝物語に聞かされ育つ。平成二十五年『等伯』で第148回直木賞受賞のほか受賞歴多数。南北朝時代、後南朝時代を背景とした作品に『彷徨える帝』『道管と正成』『義貞の旗』『十三の海鳴り』等がある。



安部龍太郎

郷土と歴史を語る



八女市田崎廣助美術館 館長

持丸末喜

八女市立花町在住。2024年に八女市田崎廣助美術館にて、民衆に根差した歴史観から世界の中の日本を捉えなおした安部文学の軌跡を辿った「作家 安部龍太郎展 ～その時代と魂～」を企画。
※右記のQRコードより、企画展の様子を動画にてご覧いただけます。

聞き手



9月23日（火・祝）

げんき館おおぶち

【会場】福岡県八女市黒木町大淵 3998

【受付】12時30分（開会13時00分）

九州の歴史に、ひととき異彩を放つ南北朝の五十七年は、年数こそ短いものですが、九州と中央の間で繰り広げられた大きなうねりの中で、力の応酬がめまぐるしく変化した、まさに激動の時代でありました。南北朝合一後に残った、滅んだ側の南朝の史跡や伝承の数々は、濃厚な文化として醸成し、筑後の各地で今も、尊崇の念をもって守り伝えられています。このたび、五條家御旗祭にあわせて、この地が故郷である直木賞作家安部龍太郎氏をお招きし、トークセッションの形でお話いただけます。ふるさとへの思いや思い出、安部文学の歴史観世界観、そして特に、南北朝時代とこの奥八女の持つ意味などについてお話いただけます。

申込方法

9月1日（月）～9月16日（火）まで受付

窓口または電話：8：30～17：15（市役所閉庁日除く）申込フォーム→

託児あり※ご希望の方は、9月12日までに、電話で申し込みください。

申込先：電話 0943-23-1982（文化振興課文化振興係）



主催者 八女市教育委員会

協力 五條家宝顕彰会、大淵地区自治運営協議会、南北朝時代歴史回廊構想推進委員会

問い合わせ先 八女市教育委員会教育部文化振興課文化振興係

電話 0943-23-1982



八女市の歴史を未来へつなぐ活動

南北朝時代歴史回廊構想推進委員会

八女市には、古代から現代に至るまでの数多くの歴史遺産、文化遺産が残されています。それらの保護保全と次代への継承は、今を生きる私たちの大きな責任であろうと思います。人の暮らしの根底には、多かれ少なかれ、必ず先人たちの繋がりがあります。それが生きる糧となっていることも、皆さんは既にご存知のことだと思えます。

人は、暮らしの根底に心の豊かさを持っています。

それは、今の自分が長い歴史の最前線に立ち、先人たちの努力による恩恵を受け、さらに未来の人々に希望をつないでいることに気づくときに感じられるものです。このような気づきから、私たちは何にも代えがたい豊かな気持ちと確かな自信を持つことができます。

この委員会は、特に八女地方に大きな影響と貴重な遺産を残している南北朝時代に焦点を当て、歴史と先人の功績を多くの市民や訪問者に伝えることを目的としています。

これまで、八女市文化遺産回廊マップ、八女市教育委員会主催の南北朝史跡シンポジウム、中世史研究者による歴史講演会、八女市に残る史跡巡りのバスツアー、南北朝関連各種パンフレット作成等、市の事業と連携して多岐にわたる活動を続けております。

特に、福岡大学名誉教授の森茂暁先生が執筆された小冊子『征西将軍宮懐良と九州の南北朝』は、九州の南北朝時代について詳細に、かつ分かりやすく書かれたもので、学問的にもまた入門書としても重要なテキストとなっています。

私たちは、これからも、地域の歴史や文化の発展に貢献し、八女の魅力を広め、共に未来を築く活動を続けていこうと思っております。

南北朝時代歴史回廊構想推進委員会 委員

五條家二十五代当主・五條元滋

安部龍太郎 郷土と歴史を語る



征西将軍宮懐良と九州の南北朝



八女市文化遺産回廊マップ

会場へのアクセス

お車でお越しの方

○八女 IC
国道442号線を大分方面へ約45分

○広川 IC
国道3号線を熊本方面へ、その後国道442号線を大分方面へ約50分

げんき館おおぶち アクセスマップ

